

■ 株主優待のご案内 ■



当社オリジナルアニメキャラクターQUO カード

3月末日現在の株主様

- 1,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,000円分を進呈
- 5,000株 以上保有の株主様 ▶ 2,000円分を進呈
- 10,000株 以上保有の株主様 ▶ 3,000円分を進呈

9月末日現在の株主様

- 1,000株 以上保有の株主様 ▶ 500円分を進呈
- 5,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,000円分を進呈
- 10,000株 以上保有の株主様 ▶ 1,500円分を進呈



ホームページアドレス: <http://www.tms-e.co.jp/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目2番4号  
TEL:03-5325-9111 (代表)



この報告書は、環境負荷低減のため「古紙配合率20%再生紙」「100%植物油インキ」を使用しています。

モバイル配信サービス

アニメ読メ

新旧の名作アニメが携帯コミックで楽しめる!



東京ムービー

あの名場面を着信ムービーに! 他にもお楽しみコンテンツ盛り沢山!



ルパン THE COMIC

アニメコミックと原作コミックがいつでも読める!



原作:モンキー・パンチ©TMS

しずくちゃん

カワイイしずくちゃんのコンテンツがイッパイ!



©クーリア/しずくちゃんプロジェクト・テレビ東京

ルパン三世公式携帯サイト

絵・声・音・映像! ルパンの魅力が携帯に集結!



©モンキー・パンチ/TMS・NTV

ブロードバンド映像配信サービス

東京ムービーONLINE <http://www.tms-e.com/online/>

スポ根、アクション、美少女、ギャグ... 見たいアニメがすぐにパソコンで楽しめる!



ルパン三世THEATER <http://www.lupin-3rd.net/theater/>

TVシリーズからスペシャルまで、ルパンワールドをたっぷり堪能!



原作:モンキー・パンチ©TMS

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



それいけ! アンパンマン ©やなせたかし / フレーベル館・TMS・NTV

第62期 中間期  
株主通信

平成19年4月1日から  
平成19年9月30日まで



世界中のあらゆる人々に  
夢と感動あふれるエンタテインメントを提供し、  
豊かな社会の実現と文化の創造に貢献することを  
基本理念としております。

当社グループは、アニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出事業と、  
アミューズメント施設の企画・開発・運営事業を通じ、  
業界での地位確立に向けて積極的な営業展開を実施してまいります。

トップメッセージ Top Message

ご挨拶

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当社グループの第62期中間期(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)の業績をご報告するにあたり、株主の皆様からの平素からのご支援に対し心より感謝申し上げます。



◆当中間連結会計期間の業績の概要

当中間連結会計期間において、アニメーション事業におきましては、前年同期を上回る作品数の制作を進め、海外との共同製作など作品への投資に積極的に取り組み、さらに国内外ライセンス販売および配信事業の総合的営業展開により収益基盤の確立に努めました。アミューズメント事業におきましては、個々の店舗の収益確保を重要視し、店舗運営強化に努めました。

この結果、連結売上高は73億5千3百万円と前年同期比11.6%の増収となりましたが、アニメーション事業の販売収入の減収による大幅な利益率の低下などにより、連結営業利益は4億3千1百万円と前年同期比38.3%の減益となりました。連結経常利益は4億5千7百万円と前年同期比34.9%の減益となり、連結中間純利益につきましては3億7千1百万円と、大幅な税金費用の軽減効果のあった前年同期に比べ37.6%の減益となりました。

◆通期の業績見通し

アニメーション事業においては、企画力と制作力の維持・強化、優良コンテンツの国内外ライセンスビジネス、ネットワーク配信ビジネスの更なる拡大で、売上高112億7千万円を見

込んでおります。

アミューズメント事業においては、従来型のアミューズメント施設の市場環境が大型化・複合化という変化を見せるなか、既存店舗の収益確保と運営力の強化を引き続き最重要施策として進め、売上高49億6千万円を見込んでおります。

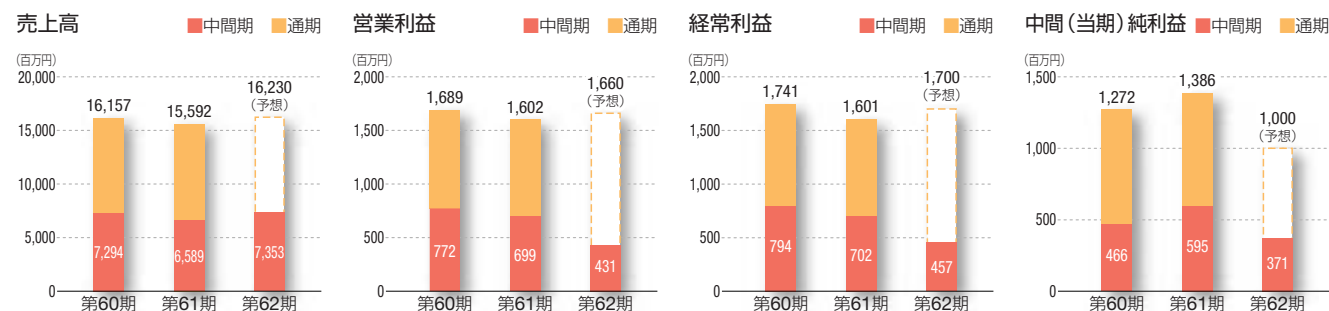
以上により、全体の売上高は162億3千万円、営業利益16億6千万円、経常利益17億円、当期純利益10億円を見込んでおります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月  
代表取締役社長 古賀 督徳

連結財務ハイライト Financial Highlights

売上高 7,353百万円 (前年同期比11.6%増)  
営業利益 431百万円 (前年同期比38.3%減)  
経常利益 457百万円 (前年同期比34.9%減)  
中間純利益 371百万円 (前年同期比37.6%減)



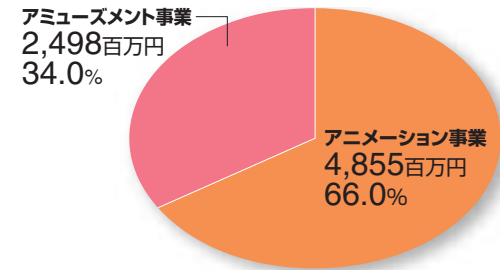
C O N T E N T S

連結財務ハイライト ……01  
財務諸表 ……07  
トップメッセージ ……02  
会社概要 ……09  
営業概況 ……03  
株式状況 ……10  
トピックス ……06

当中間連結会計期間の営業成績につきましては、アニメーション事業では販売収入が減少したものの制作収入が増収となり事業全体の売上高は増加し、アミューズメント事業でも売上高が増加したことにより、連結売上高は73億5千3百万円と前年同期比11.6%の増収となりました。

連結営業利益につきましては、アミューズメント事業の増収に伴う増益があったものの、アニメーション事業の販売収入の減収による大幅な利益率の低下などにより、4億3千1百万円と前年同期比38.3%の減益となりました。

セグメント別売上高構成比



アニメーション事業

制作収入

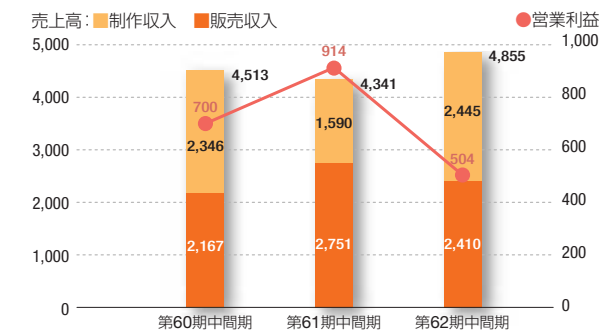
制作収入全体の売上高は24億4千5百万円となり、前年同期比53.7%の大幅な増収となりました。

◆映像制作

テレビシリーズでは「風の少女エミリー」や海外共同製作の「爆丸 バトルブローラーズ」を含め制作作品数が12作品(子会社制作含む)となり、前年同期に比べて大幅に増加しました。劇場映画ではシリーズ第11作目の「名探偵コナン 紺碧の棺(ジョリー・ロジャー)」がゴールデンウィーク中公開の邦画部門第1位とヒットし、また、夏休み恒例の第19作目の「それいけ! アンパンマン シャボン玉のブルン」は前期を上回る当シリーズ第2位の興行成績、動員数を達成することができました。CM制作ではJA共済キャンペーン向け「それいけ! アンパンマン」、コンテンツ制作では前期放送した「格闘美神 武龍 REBIRTH」などのパチンコ盤面制作にも取り組みました。

なお、昨年10月にスタートした「D.Gray-man」「ぶるるんっ! しずくちゃん」は共に放送2年目を迎え、今年10月からは、テレビ神奈川をはじめとするUHF局にて、新番組「まめうしくん」の放送を開始しております。

アニメーション事業売上高・営業利益\*及び項目別売上高構成比の推移(百万円)



\* 本社会費配賦前の営業利益

販売収入

販売収入全体の売上高は24億1千万円となり、前年同期比12.4%の減収となりました。

◆放送・ビデオ事業

番組販売では「それいけ! アンパンマン」「名探偵コナン」「ルパン三世」などの人気作品を、地上波放送、衛星放送のアニメ専門チャンネルなど各メディアに向けて、引き続き積極的に販売しております。

ビデオ販売では、DVD販売市場全体が落ち込む厳しい環境にあり、当社作品の収入にも大きく影響しました。

◆商品化権事業

当社グループが保有するキャラクターの商品化権の販売収入は、今後の成長に向けてますます重要な位置づけとなり、積極的な取り組みがなされております。今年4月に放送開始した「爆丸 バトルブローラーズ」は、セガサミーグループと連動した企画であり、カナダ、韓国、台湾、インドネシアといった海外でも放送が開始されました。その他の地域でも放送が予定され、ライセンス収入の増大が期待されております。

◆海外事業

「爆丸 バトルブローラーズ」や、日本で高視聴率作品の「名探偵コナン」「ぶるるんっ! しずくちゃん」「とっとこハム太郎」などの作品を、北中南米、欧州、アジア、中東といった市場に向けて積極的に提供しております。

海外市場の開拓は非常に重要な課題であり、引き続き事業展開を進めてまいります。

◆コンテンツ配信事業

ブロードバンド配信については、大手ポータルサイトにおける「ルパン三世THEATER」および「東京ムービーONLINE」の動画配信サービスの提供を拡大させており、着実にユーザーを増やしております。

携帯電話向け配信については、「ルパン三世MOBILE NETWORK」のリニューアルや、「しずくちゃん」のサイトをオープンするなど、更なるユーザー獲得に向けて順調にサービスを拡大させております。



「ぶるるんっ! しずくちゃん あはっ☆」  
©クアリア/しずくちゃんプロジェクト  
・テレビ東京



「まめうしくん」  
©あきやまただし  
/まめうしくん製作委員会



「爆丸 バトルブローラーズ」  
©SEGA TOYS / SPIN MASTER /  
BAKUGAN PROJECT・テレビ東京  
・電通



「D.Gray-man」  
©星野桂/集英社・テレビ東京・電通  
・TMS

アミューズメント事業

アミューズメント事業につきましては、施設運営市場全体の傾向としまして、ゲーム機の大型化・高額化や施設の複合化・大型化が進み、ゲーム機の設置台数や市場規模は増加しているものの施設運営に掛かるコスト増により中小企業の施設が淘汰され、店舗数は減少傾向にあります。

こうした市場環境の下、従来の出店数拡大による業績向上を目指す戦略から、個々の店舗の採算性を重視する戦略に転換し、新規出店については高い収益性を見込める店舗に絞り、既存の店舗については投資効果の見込める店舗に対し積極的にリニューアルを実施しました。当中間連結会計期間においての新規出店はなく、本年9月に賃貸借契約期間満了による1店舗（AGスクエア栄店）の閉鎖を実施した結果、中間期末の店舗数は25店舗となりました。

施設運営収入につきましては、既存店舗の売上高は前年同

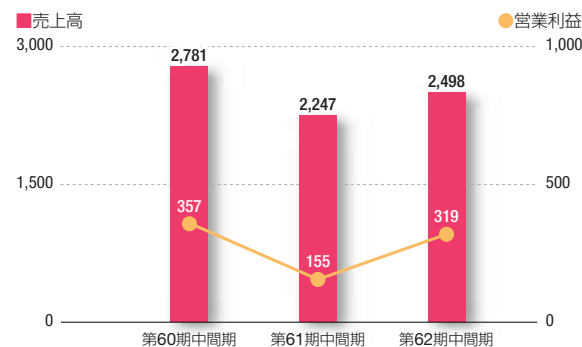
期に比べ1.7%の減少となりましたが、前年下期の新規出店効果により、アミューズメント事業全体の売上高は24億9千8百万円となり、前年同期に比べ11.2%の増収となりました。

また、営業利益につきましては、前期に実施した不採算店舗閉鎖の効果および当期に実施した3店舗のリニューアル効果の他、前期に比べ新規出店コストが大幅に減少したことにより、3億1千9百万円と前年同期比105.5%の大幅な増益となりました。



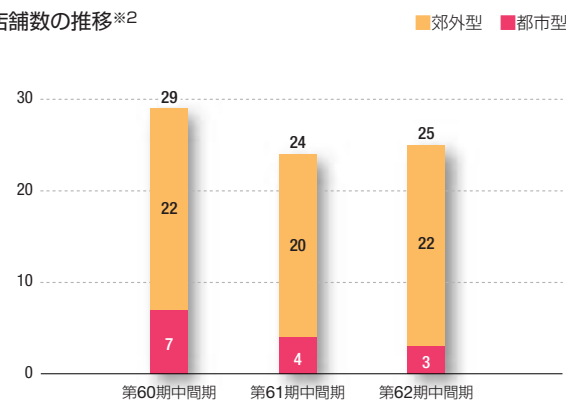
アミューズメント施設 AGスクエア庄内店

アミューズメント事業売上高・営業利益\*1の推移\*2(百万円)



\*1 本社会費配賦前の営業利益  
\*2 第60期の業績および店舗数には、旧連結子会社が含まれております。

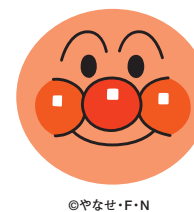
店舗数の推移\*2



トピックス

「それいけ!アンパンマン」  
4月に横浜アンパンマンこどもミュージアムがオープン、  
夏休みには第19作目の劇場版アニメを公開

1988年の放送開始から20周年目を迎える今年の4月、横浜市みなとみらいに「横浜アンパンマンこどもミュージアム」がオープンしました。オープン1ヶ月で来場者が45万人を超え、想像を上回る大盛況ぶりです。夏休みに公開された、劇場版アニメ第19作目となる「それいけ!アンパンマン シャボン玉のプルン」も大好評で、当シリーズ第2位の興行成績、動員数を達成しました。



YOKOHAMA  
ANPANMAN  
CHILDREN'S  
MUSEUM



「それいけ!アンパンマン シャボン玉のプルン」  
©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV  
©やなせたかし/アンパンマン製作委員会2007



「ルパン三世」  
原作の連載開始から40周年  
TVスペシャル、OVA、  
ネットワーク配信などを展開

「ルパン三世」は連載開始から今年で40周年を迎えました。40周年記念作品となるテレビスペシャル「ルパン三世 霧のエリュージヴ」を7月に放送し、現在は新作OVA(オリジナルビデオアニメ)の製作が進行中です。その他、インターネットを通じたTVシリーズの配信や携帯電話向けのデジタルコンテンツ配信も積極的に展開しています。

原作: モンキー・パンチ ©TMS  
©モンキー・パンチ/TMS・NTV

連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間末	前中間連結会計期間末
	平成19年9月30日現在	平成18年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	11,562	11,666
固定資産	6,501	5,695
有形固定資産	2,966	2,863
建物及び構築物	1,712	1,273
土地	797	907
その他	455	681
無形固定資産	186	165
投資その他の資産	3,348	2,666
資産合計	18,064	17,361
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,653	2,909
固定負債	486	471
負債合計	3,140	3,380
<b>純資産の部</b>		
株主資本	14,973	14,096
資本金	8,816	8,816
資本剰余金	1,806	1,806
利益剰余金	5,241	4,362
自己株式	△890	△888
評価・換算差額等	△93	△122
新株予約権	43	6
純資産合計	14,923	13,981
負債純資産合計	18,064	17,361

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
	平成19年4月1日から平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで
売上高	7,353	6,589
売上原価	5,882	4,900
売上総利益	1,471	1,688
販売費及び一般管理費	1,039	988
営業利益	431	699
営業外収益	53	19
営業外費用	27	16
経常利益	457	702
特別利益	155	56
特別損失	67	264
税金等調整前中間純利益	545	494
法人税、住民税及び事業税	290	209
法人税等調整額	△117	△310
中間純利益	371	595

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間
	平成19年4月1日から平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,324	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△629	△1,831
財務活動によるキャッシュ・フロー	△333	△369
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増加額(△は減少)	363	△2,165
現金及び現金同等物の期首残高	5,035	7,250
新規連結に伴う現金及び同等物増加	70	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,468	5,084

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他利益剰余金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	8,816	1,806	5,152	△889	14,886	14	△140	△125	25	14,786
中間連結会計期間中の変動額										
連結子会社増加に伴う剰余金の増加額			35		35					35
剰余金の配当			△319		△319					△319
中間純利益			371		371					371
自己株式の取得				△1	△1					△1
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						29	1	31	18	50
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	88	△1	86	29	1	31	18	136
平成19年9月30日残高	8,816	1,806	5,241	△890	14,973	44	△138	△93	43	14,923

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

個別財務諸表

中間個別貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間会計期間末	前中間会計期間末
	平成19年9月30日現在	平成18年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	11,099	11,381
固定資産	6,727	6,145
資産合計	17,827	17,526
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,653	2,956
固定負債	383	362
負債合計	3,036	3,318
<b>純資産の部</b>		
株主資本	14,701	14,201
資本金	8,816	8,816
資本剰余金	1,806	1,806
利益剰余金	4,969	4,466
自己株式	△890	△888
評価・換算差額等	44	0
新株予約権	43	6
純資産合計	14,790	14,208
負債純資産合計	17,827	17,526

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間個別損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間会計期間	前中間会計期間
	平成19年4月1日から平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から平成18年9月30日まで
売上高	7,241	6,373
売上原価	5,827	4,745
売上総利益	1,414	1,627
販売費及び一般管理費	1,011	965
営業利益	402	661
営業外収益	69	36
営業外費用	26	10
経常利益	446	688
特別利益	155	56
特別損失	67	264
税引前中間純利益	534	480
法人税、住民税及び事業税	284	200
法人税等調整額	△112	△312
中間純利益	361	592

注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 会社概要 (平成19年9月30日現在) Corporate Profile

## 会社概要

商号	株式会社 トムス・エンタテインメント
設立	昭和21年10月
資本金	88億1,686万円 (名古屋証券取引所市場第二部上場)
従業員数	302名(連結)
事業内容	<b>アニメーション事業</b> アニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出 <b>アミューズメント事業</b> アミューズメント施設の企画・開発・運営
事業所	<b>本社 (管理本部、東京ムービー事業本部、アミューズメント施設事業本部)</b> 〒160-0023 東京都新宿区西新宿三丁目2番4号 TEL:03-5325-9111 FAX:03-5325-1511  <b>東京ムービー事業本部制作スタジオ</b> 〒164-0002 東京都中野区上高田五丁目39番1号 TEL:03-3319-1131 FAX:03-3319-1140
主な子会社	株式会社 テレコム・アニメーションフィルム 株式会社 トムス・フォト 株式会社 トムス・ミュージック TMS ENTERTAINMENT USA, INC. TMS MUSIC (UK) LTD. TMS MUSIC (HK) LTD.

## 取締役および監査役

取締役会長	里見 治
取締役社長(代表取締役)	古賀 督徳
常務取締役(代表取締役)	松元 理人
常務取締役	山田 克博
取締役	吉田 諭司
取締役	鶴谷 誠
取締役	岡村 秀樹
取締役	西田 浩
常勤監査役	升森 長
監査役	平川 壽男
監査役	田中 克郎
監査役	上瀧 雄一郎

# 株式状況 (平成19年9月30日現在) Stock Information

## 株式の状況

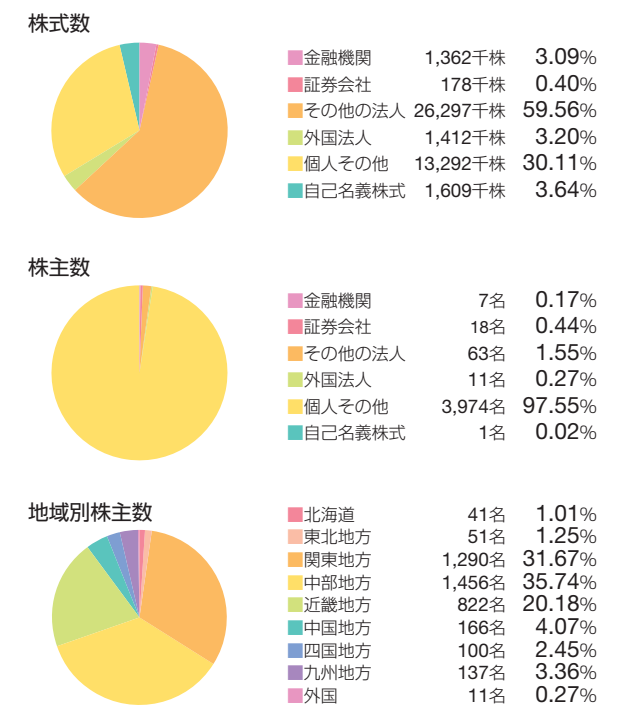
発行可能株式総数	121,000,000株
発行済株式の総数	44,153,101株
株主数	4,074名

## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
セガサミーホールディングス(株)	23,549	55.35
日本テレビ放送網(株)	2,000	4.70
ノーザントラストカンパニーエイプイエフシー サブアカウントアメリカンクライアント	696	1.64
シービーエヌワイチャールズシュワップ エフビーオーカスタマー	497	1.17
中部証券金融(株)	363	0.85
資産管理サービス信託銀行(株)(年金特金口)	313	0.74
野村信託銀行(株)(投信口)	255	0.60
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	247	0.58

※当社は、自己株式1,609,143株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 株式分布状況



## 株主メモ

上場取引所	名古屋証券取引所市場第二部	株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	毎年6月	同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話:0120-232-711(通話料無料) URL <a href="http://www.tr.mufig.jp/daikou/">http://www.tr.mufig.jp/daikou/</a>
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日	同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
公告方法	電子公告にて当社のホームページ ( <a href="http://www.tms-e.co.jp/">http://www.tms-e.co.jp/</a> )に掲載いたします。ただし、 やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。		